

青丘文庫研究会 月報

No.305
2025年5月1日

青丘文庫研究会 〒657-0051 神戸市灘区八幡町 4-9-22 (公財)神戸学生青年センター内
TEL 078-891-3018 FAX 078-891-3019 <https://ksyc.jp/sb/> e-mail hida@ksyc.jp
①在日朝鮮人運動史研究会関西部会 (代表・飛田雄一)
②朝鮮近現代史研究会 (代表・水野直樹)
郵便振替<00970-0-68837 青丘文庫月報>
年間購読料 3000 円。在日朝鮮人史研究関西部会会費 5000 円/年 (雑誌 3 冊を入手できます。)

<在日朝鮮人運動史研究会 2025 年 4 月 13 日> 書評:堀内稔著『兵庫と朝鮮人一こぼれた歴史を拾って一』 (むくげの会、2024 年) 高野昭雄

この度、関西部会会員の堀内稔さんが、著書『兵庫と朝鮮人一こぼれた歴史を拾って一』(むくげの会、2024 年)を出版されました。約 40 年間にわたって、戦前期兵庫県に生きた在日朝鮮人に関する新聞記事を収集されてきた成果です。新聞記事のうち、労働運動に関係する部分は、すでに『兵庫朝鮮人労働運動史 八・一五解放前』(むくげの会、1998 年)としてまとめられています。今回の著作は、兵庫の朝鮮人に関する新聞記事のうち、労働運動に直接関係しない記事を「史片」(『むくげ通信』)などに約 50 回にわたって執筆し、それらをまとめられたものです。1つ1つは小さな「こぼれた歴史」であっても、集積することにより兵庫県の在日朝鮮人史の全体像がいわば体系的に理解できるようになっています。一般書としての発行のため、平易な文体で書かれており、誰にでも読みやすい著作となっています。本の価格も「1500 円+税」と大変良心的です。以下、目次を紹介させていただきます。

はじめに

- 1 「韓国併合前」のはなし
朝日新塾／「併合」前に日本にきた朝鮮の妓生／神戸港の中国人労働者入国問題
- 2 土木工事と朝鮮人労働者
姫路・相坂トンネル工事と廃品回収／大規模な阪神国道工事／円山川改修工事と但馬地方の朝鮮人／阪神間の鉄道の高架工事／豊峰線工事の朝鮮人労働者／神戸大学六甲台校舎建設と百万ドルの夜景／事故が多発した尼崎の火力発電所工事／姫津線・相坂トンネル工事の事故／中国人労働者が朝鮮人を駆逐？／矢田川改修工事と朝鮮人労働者
- 3 兵庫の産業と朝鮮人
1910 年代前半の海運界と朝鮮人船員／神戸のマッチ工業と朝鮮人／長田の朝鮮人の始まり／但馬の杞柳細工の朝鮮人／灘五郷の製塩業／神戸港で「固いなまこ採り」一済州島の海女／朝鮮人炭焼きの話／長田のケミカルシューズ
- 4 朝鮮人児童の教育
渡日初期の朝鮮児童と尋常小学校／神戸の朝鮮人夜学校／尼崎市の朝鮮人夜学断片／須磨の朝鮮人夜学／神戸の朝鮮人幼稚園／西宮の融和団体と夜学／関西普通学堂の設立／宝塚の融和団体と朝鮮保育園／宝塚伊子志の朝鮮人夜学
- 5 民族と生活のための運動
関西朝鮮人三一青年会／阪神間の電灯料金値下運動／北神商業学校事件
- 6 朝鮮人スラムと立ち退き問題
西宮獅子ヶ口の朝鮮人の立ち退き／神戸・高架下のスラム／尼崎の朝鮮人立ち退き問題／神戸・新川スラムの大火
- 7 密造酒の摘発

新聞記事に見る朝鮮酒の密造／戦後、尼崎・守部の密造酒摘発事件

8 相互扶助の朝鮮人組織

神戸朝鮮人消費組合について／泗龍親睦会について／協和会体制移行と甲南終美会

9 日本の戦時体制とのかかわり

阪神間の朝鮮人と国防婦人会／尼崎協和会の神棚配布

10 朝鮮本国と連動した動き

神戸の伊藤博文の銅像と大倉山公園／純宗の死去と阪神間の朝鮮人／神戸で元山ゼネスト支援のスト？

11 神戸市の朝鮮人対策

兵庫県の救護視察員制度と朝鮮人／戦前神戸市の教導委員制度／神戸市社会課の「浮浪者の調査」と朝鮮人

12 朝鮮人の選挙風景—兵庫県における普選第 1・2 回総選挙

13 宗教関連のはなし

神戸で初めての朝鮮人キリスト教会／在神朝鮮人の仏教会館設立

14 番外—朝鮮本国のはなし

ノダジ／日露戦争に従事した朝鮮人将校／朝鮮競馬令

あとがき

以上、目次をたどるだけでも本書のテーマが労働・生活・教育・宗教・団体・運動など多岐にわたることがわかります。これだけ多彩な内容を、これだけ簡潔に（219 頁）まとめられるのかと驚かされました。新聞記事に語らせる歴史であり、記事の具体性、面白さが、従来なかったタイプのユニークな一般書として結実しています。歴史的評価の前に、まず事実の確定を行うべきであるという堀内氏の誠実な姿勢が伝わります。在日朝鮮人の問題について、ネット空間で極端な言説が飛び交っている今、事実はどうだったのか、勉強したいと関心を持っておられる方々、戦前期在日朝鮮人の歴史について地域史から学んでみたいと考えておられる一般市民、学生、教員、研究者の方々に是非手に取っていただきたい一冊です。

（購入希望者は、郵便振替＜01120-5-46997 むくげの会＞に 1650 円送金ください。送料むくげの会負担でお送りします。）

<青丘文庫研究会の記録>

月報が 2025 年 1 月以来の発行となってしまいました。この間、メールニュースを発行していました。メールニュース希望の方は、飛田雄一 hida@ksyc.jp までメールをお願いします。以下、のちのちの青丘文庫研究会歴史のために記録を掲載しておきます。

- ・ 1 月 12 日（日）在日水野直樹「水野直樹「1930 年代中野重治の植民地主義批判」、近現代史（趙正熙「崔承喜の『リリックポエム』：大阪第 1 回公演(1935.10.25.) 取材
- ・ 2 月 9 日（日）在日（午後 2 時～「関東大震災朝鮮人虐殺に関する調査・追悼運動—1960～70 年代の日朝協会を事例として」韓光勲、午後 3 時半～②飛田雄一「武庫川と朝鮮人」、近現代史は休み。
- ・ 3 月 9 日（日）午後 2 時～5 時、在日（『夏の日 原爆の図』『安威海軍地下倉庫』『証言・金屋淵 鉦業所』などの上映と、制作者・田中寛治さんのお話）、近現代史研究会は休み。
- ・ 4 月 13 日（日）在日（1）午後 2 時～、（高野昭雄、書評・堀内稔『兵庫と朝鮮人—こぼれた歴史を拾って—』）、（2）午後 3 時半～、趙正熙「崔承喜の 1935 年宝塚公演—1930 年代の藝術舞踊の危機克服のための崔承喜の戦略」、近現代史は休み。

【今後の研究会の予定】

- ・ 6 月 8 日（日）在日（未定）、近現代史①（池山一男、李北満『李朝社会経済史研究』小論）、②佐野通夫「韓国の運動報告（仮題）」
- ・ 7 月 13 日（日）在日（韓光勲「東京日日新聞による朝鮮人虐殺事件報道の検証—流言の拡散と

裁判報道の限界」、近現代史（未定）

- ・ 8月はおやすみ。
- ・ 9月14日（日）在日（河かおる）、近現代史（未定）
- ・ 10月12日（日）在日（未定）、近現代史（未定）

※報告希望者は、飛田または水野直樹に連絡ください。

- 1)「武庫川と朝鮮人」資料集(1)(2)、
 - 2)資料集「アジア・太平洋戦争下・神戸港における強制連行・強制労働一朝鮮人・中国人・連合軍捕虜」を発行しました。
- そして、いよいよ――
- 3)青丘文庫研究会月報バックナンバー(1号～300号)を発行します。



- 飛田雄一編『資料集「武庫川と朝鮮人」』B5判90頁、定価：本体1000円+税、2025年2月発行。
申京煥君を支える会『申京煥裁判・証言集・第1集』(1977.4)金泰浩、井熊一郎証言 3頁
飛田「1961年、武庫川河川敷の強制代執行」、堀内稔「新聞記事に見る武庫川改修工事と朝鮮人」、「さむるのり らいぶ いん むこがわ」(1987)冊子、鄭鴻永『鉄道トンネルから地下工場まで一兵庫県下のトンネルに埋められた朝鮮人の足跡』、鄭鴻永『歌劇の街のもうひとつの歴史―宝塚と朝鮮人』抜粋(3編)、近藤富男「福知山線工事」、太田光一「武庫川改修工事と朝鮮人」(『兵庫のなかの朝鮮―歩いて知る朝鮮と日本の歴史』)、孫敏男「武庫川河川敷生活物語」、新聞記事ほか
- 同『資料集「武庫川と朝鮮人」(2)』A4判94頁、定価：本体1000円+税、2025年3月発行。
兵庫県河川課『武庫川不法占拠措置の記録』(1963年3月20日)、兵庫県河川課『昭和36実施 武庫川不法占拠関係』(※新聞スクラップ)、尼崎市職員組合自治研福祉部会「河原居住者立退きとその生活保障―兵庫県武庫川の事例研究―」(『月刊自治研』1962年1月)、尼崎市社会保障審議会、「武庫川バラック居住調査報告書」(出所不明、「調査期間：昭和35年3月21日より10日間」)。
- 同『資料集「アジア・太平洋戦争下・神戸港における強制連行・強制労働一朝鮮人・中国人・連合軍捕虜」』A4判174頁、定価：本体1000円+税、2025年4月発行。
飛田「神戸港における戦時下朝鮮人・中国人強制連行を調査する会」の記録(『むくげ通信』288号(2018.5.27.4))、飛田「研究レポート 新聞記事にみる「神戸港の強制連行／強制労働一朝鮮人・中国人・連合軍捕虜」」(『むくげ通信』226号(2008.1.27)、調査する会ニュース「いかり」1号(2000.1.30)、2号(2000.6.25)、3号(2000.10.29)、4号(2001.4.30)、5号(2001.11.4)、6号(2002.4.29)、7号(2002.11.17)、8号(2003.12.21)、9号(2004.7.18)、10号(2008.12.11)、神戸港フィールドワークノート(2001.9.23)ほか。

※いずれも神戸学生青年センター発行。Amazonで購入可。学生センターに注文のときは、別途250円の送料を申し受けます。

その他、以下の資料集等が発行されました。学生センターの自動製本する印刷機(リソグラフ)で冊子を乱造?しています。以下に冊子3冊の表紙を紹介します。

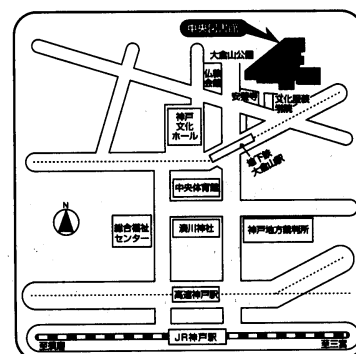


いずれも定価＝本体 1000 円＋税。神戸学生青年センター刊。アマゾンOK。

●青丘文庫研究会●

2025年5月11日(日) 午後2時～5時

在日(1)(金裕賢「朝鮮学校「支援」の論理をめぐって—小沢有作『在日朝鮮人教育論 歴史篇』を中心に)、(2)堀内稔「失業救済事業・六甲縦走路工事と朝鮮人労働者」、近現代史はお休みです。
会場 青丘文庫(神戸市立中央図書館内、TEL 078-371-3351、新館3階で身分を証明するものだして入館証を受け取り4階会議室にお越しください。)



【編集後記】

- 今年1月以来の印刷版「月報」です。印刷版を発行できないときは、メールニュースを出しています。希望者は、飛田 hida@ksyc.jp までご連絡ください。本号で予告したように『月報』復刻版を発行します。姜在彦先生が、「飛田さん作ってよ」と言われていた宿題です。6月の発行を目指しています。以下、まえがきの一部です。とっておき情報が含まれています。「青丘文庫の書籍はインターネット上に目録がありません。神戸市立中央図書館のシステムがハングル対応できないことが原因です。でも、印刷版の目録が3冊まで発行されています。『青丘文庫図書目録1981』、『青丘文庫図書目録1981追補 II』、『青丘文庫図書目録1984追補 III』です。神戸学生青年センターの「六甲アーカイブ <https://ksyc.jp/roko-archive/>」でご覧いただけます。ご利用いただければと思います。／青丘文庫は神戸市立中央図書館に所蔵されているので、永遠に?存続するものと思います。青丘文庫研究会のほうは、永遠かどうか分かりませんが継続いたします。青丘文庫を広くご利用いただくことを期待するとともに、青丘文庫研究会へのご参加もよろしくお願いいたします。この合本が、青丘文庫および青丘文庫研究会の更なる発展のために寄与することを願っています。」
- 2025年度(2025年4月～2026年3月)の会費をお願いします。青丘文庫研究会は①在日朝鮮人史研究関西部会と②朝鮮近現代史研究会の総称です。年会費は3000円、印刷版の月報および青丘文庫会員証をお届けします。但し学生会員で印刷版月報の不要な方はこの会費が不要です。飛田までその旨連絡ください。①在日朝鮮人史研究会関西部会は別途5000円の会費が必要です。この会員には、年1回発行の『在日朝鮮人史研究』が3冊送られます。送金先はいずれも郵便振替<00970-0-68837 青丘文庫月報>です。今号に、会員の方には「会員証」を同封しています。(飛田)